

しんあい

季刊

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい

2010年(平成22年)5月5日発行 第73号 ◆編集と発行 しんあい編集部

保育園児との触れ合いで元気をもらいました♪（緑苑）



- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター
- ・かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター
- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・府中市立あさひ苑
- ・母子生活支援施設東京都網代ホームきずな
- ・高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 介護保険を考える32

◆ 法人の理念を実践

◆ 施設だより
○○^{さか}盛り

を考える 32 周年を振り返って -

鈴木恂子


障害者自立支援法の廃止と介護保険法

2005（平成 17）年に成立した障害者自立支援法は、事実上 2010 年 1 月 7 日に廃止することが決まりました。これは障害者自立支援法訴訟団が原告となり国に対し、生きるために必要不可欠な支援を「益」とみなし、「障害」を自己責任とする障害者自立支援法について違憲訴訟を起し、その後国と協議を重ねた結果、基本合意したものです。

1997 年 12 月に成立した介護保険法も高齢者の心身の状態を要介護度に区分認定し、給付上限額を定めて、なおかつ 1 割の利用料負担を求めています。そのため、要介護度が重い方ほど、1 割の利用料負担は大きくなります。「要介護度が重い、即ち介護サービスの量は多く必要」と認定されても、必要な介護サービスを求めると「益」とみなされ、負担が増大する仕組みになっています。

在宅で介護保険を利用する場合は、ケアプランに基づき提供される制度なので、一層複雑でわかりにくくなっていますが、生きるために必要な支援・介護サービスは障害者でも高齢者でも人の生活・生存にかかわることです。

障害者自立支援法が廃止になり、当事者参加のもとで「新法」が制定されることに大きな期待をもっています。そして障害者自立支援法のモデルになった介護保険法が今後は新法をモデルに介護を必要とする高齢者とその家族のために「新法」と同じ理念をもった法律に改正してほしいと願っています。

こった事	望まれるこれからの改善
<p>正化の強化) 原則対象外となったため、いわゆる家事特に同居人がいる場合は94歳の夫でも、帰らぬ息子でも家事援助は受けにくくなるに判断されましたが、自治体によって全額自己負担で家事サービスを提供する</p> <p>にサービスを提供する制度になりました。要支援2になったため、これまでのサーキズ、ケアマネジャーやヘルパーが「不用者の板ばさみ」になり苦悩しました。</p> <p>般高齢者）、弱り始めている高齢者（特とになりましたが、まだまだ元気な高齢（この事業も介護保険が財源です。）</p> <p>額し、加算体系となりました。医療的対色が薄らいでいく危惧が生じました。</p> <p>が「静養ホームたまゆら」であったり、犯による刑務所と、報道されています。は親と子の間で起こる多くの悲劇が後を</p> <p>もらえる仕事をしたいと、期待を持って間に失望し、職を離れていきました。学生が集まらず、定員割れを起し、閉を含む24時間体制のシフトが組めず、非</p>	<p>望まれるこれからの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者が安心して老いることができるトータルな制度づくり ●そのために福祉や介護を支える人々が安心して働くことができる環境づくり <p>この2点がこれからの改善目標ではないでしょうか。</p> <p>介護保険制度 10 年間で貴重な教訓として、次の 10 年は新たな仕組みづくりを目指し、利用者や働く人々が参加して利用する立場からの安心して老いを生きるための制度づくりが必要と思います。そのために次の三点は欠かせないものと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生きるために必要な衣食住（洗濯、着替え、たとえ 1 食でも加熱調理された食事、掃除、修繕など日常的な支援を含む）を支える制度が必要です。家族、近隣、ボランティア等を前提とした地域包括ケアだけでは、安心できません。サービスとして購入できない高齢者の生活支援の充実、老老世帯、高齢単身世帯が増加する現在、緊急の課題です。 ②介護の安心を保障する介護保険に 制度改正のために、同じ状態像でも介護度が変化する「全国一律」の区分、また同一人が要支援2から要介護2の間をいったりきたりする現状は、「要介護度」への信頼がうすれています。又在宅の場合、要介護5でも、サービスの利用は50%にもいかず、要介護度認定は手続きが複雑な割には有効性が薄いともいえます。介護保険を介護に特化するなら、「介護」の安心を保障する介護保険であってほしいと思います。 ③福祉施設の機能復活 特別養護老人ホームは、介護を必要とする高齢者の生活の場として老人福祉法に基づく福祉施設でしたが、介護老人福祉施設になり、介護サービスを提供する施設になりました。 また養護老人ホームも介護保険法の特定施設に導かれていますが、高齢者が安心して生活するためには、まず衣食住を中心とする「生活」が保障されること、その上で介護が必要な方には介護の保障が必要になります。生活保障不在の介護は成りたちません。 「たまゆら」の教訓を得て、「老人福祉施設」の機能の復活こそが高齢者のセーフティネットといえるのではないかと思います。 金銭給付の「生活保護」だけでは高齢者の生活は成りたちません。 <p>みなさまは、いかがお考えでしょうか？</p> 



介護保険制度 - 介護保険施行 10

介護保険法は1997（平成9）年12月に成立しました。その後2000年4月実施に向けて、保険給付の根拠となる要介護度の認定、介護支援専門員（ケアマネジャー）という新たな資格の創設養成、介護の保険点数化（単位）等々の準備が急ピッチで進められました。

それまで老人福祉法の下で、1980年代のゴールドプランなどをはさみながら、国、都道府県、自治体により税を財源に整備されてきた高齢者の福祉サービスは、ほとんど介護保険法に吸収されました。

今年2010年3月は介護保険法スタートから満10年が経ちました。この10年間のあいだに介護保険制度は、保険料負担の増加に反してサービスの給付制限が厳しくなり、当初この制度に期待していた多くの方々からも色々な提言がされています。

今回は10年間のまとめとして、制度の変化、それに伴う現場の混乱、そして社会福祉の基礎構造改革により社会にあらわれた歪みなどをまとめ、今後を考えてみました。

制度の変化	現場で起
<p>介護保険制度は発足当初より「走りながら考える」といわれ、5年ごとの制度改正、3年ごとの保険料見直しが決まっていた。</p> <p>1. 居住費と食事代の利用者負担化 2006年の改定のうち、施設の居住費等は前年2005年10月に実施され、特別養護老人ホーム（以下、特養）等の施設サービスに対して、居住費と食事代が利用者負担になりました。利用者の負担が増え、介護報酬は減額になりました。（2003年には特養の入所ルールが申し込み順から必要度の高い人順に変わり、介護度4、5の方が優先入所するようになりました。）</p> <p>2. 2006（H18）年の制度改正 財源の確保を目的にした制度改正になり、「給付の適正化」が強化されました（認定の適正化、ケアプランの適正化、サービス提供の適正化）。</p> <p>①予防給付の新設 介護給付とは別に予防給付が新たにでき、要支援1、2の方は予防給付の対象に区分されました。</p> <p>②地域密着型サービスの創設 グループホームをはじめ、自治体が計画的に地域密着型の小規模施設の整備を進めることになりました。</p> <p>③地域包括支援センターへの移行 老人福祉法の在宅介護支援センターを介護保険法の地域包括支援センターとし、上記予防給付の対象となる要支援1、2の方のケアプランの担当となりました。</p> <p>3. 3年ごと保険料の見直し 制度改正に伴い介護報酬も変わり、そのたびに特養はマイナス改定でした。また報酬が細分化し、改定の都度複雑に変化しました。一方保険者（多くは自治体）ごとに介護保険事業計画に基づき算定される65歳以上の保険料負担は3年ごとに引き上げられました。（全国平均基準額は次のように変化しました。） 第1期（2000～2002年）：2,911円 第3期（2006～2008年）：4,090円 第2期（2003～2005年）：3,293円 第4期（2009年～）：4,160円</p>	<p>1. 制度の変化で起こったこと</p> <p>①介護保険は介護に特化すべし（適） 例えば訪問介護について、生活支援は援助はサービスから除外されました。障害のある長女でも早朝から深夜までりました（後に自治体によっては弾力は厳しく指導されたため民間事業者はとこが多くなりました）。</p> <p>②要介護1相当が要支援2に 要支援は予防給付となり、予防を目的要介護1の多くの方は新ルールの下でビスが利用できなくなることを理解で親切」な存在になり担当者は制度と利</p> <p>③予防事業の創設 介護保険の対象にならない高齢者（一定高齢者）にも予防事業を提供する者にはなかなか浸透しませんでした。</p> <p>④特別養護老人ホームの医療化 介護報酬の改定により、基本報酬が減応の充実を評価する加算により、生活</p> <p>2. 社会全体に起こったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉施設」を失った高齢者の行き先唯一のセーフティネットが高齢者の再 ・老老介護に疲れ果てた夫と妻、あるいたちません。 ・高齢者のために役に立ちたい、喜んで仕事に就いた若者の多くは、この10年 ・2009（H21）年4月は多くの養成学校で鎖や縮小を余儀なくされました。 ・介護、福祉現場は人材難となり、夜勤常に厳しい状況に追い込まれました。

法人の理念を実践 多摩同胞会の基本指針



多摩同胞会では、法人創設者中城イマ前理事長の4つの信念を基本指針として、事業を推進しています。法人各施設の具体的なとりくみをお伝えします。

利用者に深い共感をもつ

今日は寒い？ 温かい？

施設に入居されている利用者は、外に出る機会が少ないため、外の気温を直接肌で感じる事がありません。

先日、ある利用者が

「ここに居たら寒いのが暖かいのやら。何を着ても良いかわからないわ。」とつぶやいていました。施設の中は夏は冷房、冬は暖房が入り、常に一定の温度を保っています。

だから職員は1年を通して、半袖で働ける環境があります。利用者の一言を聞いた時は「そうなんだな〜。」とあらためて実感しました。

1日に何回も着替えをされている方も単に認知症だからというわけではなく、その人なりに温度調節をしているのだと

思います。利用者は半袖姿で動いている職員を見て、

「あら〜そんな腕出して寒くないの?」「寒そうな格好して風邪引かないでね。」と声をかけてくださいます。長袖を着る機会が多い高齢者と、半袖姿で冬でも汗だくの職員。

「今日は寒いですね。」と何気なく会話していても、お互いの温度差がある事に気付かれました。「お肉がいっぱい付いているので暖かいんです。お腹のお肉少しもらってくれます?」と冗談交じりの会話が、そんな温度差を緩和してくれる事もあります。

利用者の衣類を準備する時は、利用者の気持ちになり、雪の日には一緒に部屋の中から外を眺め、暖かい時には外の空気を部屋に入れ込んで、日本の四季を共に味わっていきたいと思います。

(泉苑介護員 石田 百合亜)



地域の方々に感謝する

地域と一つになる瞬間!

平成6年4月、府中市緑町に緑苑が開設して早くも16年がたち、地域の中にある施設として地域の皆様と共に歩んできました。

1年を通じてみると、5月には地域が中心となって行われる府中のお祭り「大國魂神社例大祭」があります。緑苑にも子供神輿が立ち寄り、利用者も地域の子供達や大人の方々も一緒に「わっしょい!」の掛け声と共に緑苑の苑庭を練り歩き、にぎやかで活気あふれるひと時を共有します。

8月の納涼祭では毎年500人の方が緑苑を訪れます。地域住民や緑苑応援隊の協力のもとおせいの方に楽しんでいただいています。

12月には、地域と施設の年忘れ紅白歌合戦が行われ、歌を通じて交流も深め、餅つき大会では、餅つきだけにとどまらず!しめ縄作りも地域の方々と利用者と共に作り上げお正月を迎えます。

季節の行事を通じて、施設利用者の生活を地域の皆様に支えていたとき、地域の中で気軽に声を掛けあえる関係や地域の皆様と緑苑に利用者や会にきて過ごす姿も自然にみられるようになりました。

これからも、地域と共に支え合える緑苑でありたいと思います。

(緑苑在宅介護支援センター次長 比留間 貴)



水・電気などの資源を大切に

エコの発信は神田から

法人のこの理念を堅守する、かんだ連雀の取り組みをご紹介します。

まずは、各フロアの蛍光灯です。最小限の数で、最大限の効果を得られるよう、緻密に計算され尽くされ、従来の半数以下まで節約され、さらにスイッチには「使用しない」のシールが貼られています。どうです、この徹底ぶり。もちろん、利用者の居室や、リビングは、採光に気を配った明るい設計ですので、「ご安心を」。

そして平成20年度に活動を行った「エコ・プロジェクト」

が、その会議の中で見直しを検討したものは、家電製品の待機電力、水道蛇口のコマの大きさ、冷蔵庫内の食品の入れ方、コピーの使い方、エアコンの温度設定、洗濯物のまとめ洗い、食器の貯め洗い、マイ箸持参の推進、省エネ電球の使用、エアコンのフィルター掃除、地球温暖化と大気汚染を軽減する植物「サンパチエンス」植樹と、今後の活動資金収集のための「一円玉募金」と枚挙にいとまがありません。

そのすべての取り組みが成果を挙げたわけではありませんが、その姿勢には、法人設立からの精神が、脈々と受け継がれています。

（かんだ連雀 次長 金井 英明）



常に防災を心がけ火を出さない

「いね」の時の防災訓練

火は使い方によっては大変便利で、料理や灯りをはじめ太古から私たちの生活に欠かせないものです。しかし、ひとたび使い方を誤ると恐ろしく姿を変えて家や街や野山までも飲み込み、財産から思い出まで大切なものをすべて焼き尽くしてしまいます。

怖いのは火災だけではありません。「地震の巣」と呼ばれる日本では過去いくつもの大地震が起き、数々の震災があったのは皆さんもご存じの通りです。ここ最近では東海大地震が発生する確率が高まっているとも言われています。

多摩同窓会では新人研修のなかにも防災研修があり、現場

で火災・震災を問わず避難誘導ができるようにと、全施設で毎月防災訓練を行なっています。

たっちが他の施設と少し違う点は、商業ビルの中にあることと、施設の種類上は「年に2回訓練を行うこと」とされていることです。

たっちには毎日300人を超える利用者が訪れますが、すぐ上の階はすべて飲食店、最上階は映画館という環境のため、災害時にはかなりの人数が一斉に避難することになります。ですから年2回などと言わず、毎月防災訓練を行なっています。

（たっち 交流ひろば担当 小島 宗宏）



平成 22 年度 新入職員基礎研修

2010年3月25日（木）、26日（金）に泉苑4階ホールで新任職員基礎研修が開催され、多摩同僚会や福祉についての理解を深めました。

参加した職員は、平成21年度中に入職者、この春、学校を卒業した新卒者、また転職組の計30名です。

平成21年度は正職員の離職率が6.3%と低く（平成20年度は9.6%）、中途採用の職員も例年と比較しても少なくなりました。

研修プログラムは下記にありますが、法人の役職員が講師となり、法人の理念や職員と

しての心構えから学ぶ研修です。

特に新卒の学生は、これまでは授業料を払って講義を受けてきましたが、ここからは研修を受けることにより賃金が支払われることになるのですから、まずはその立場を認識させることから育成が始まるのかもしれませんが。

多摩同僚会ではこの研修を皮切りに、4月以降3ヶ月間を研修期間として育成に取り組みます。その間もテーマ別の研修が企画されています。そして、ひとりひとりが研修履修カードにより1年間に参加する研修を管理し、次年度へつなげます。



研修プログラム



3月25日（木） 8:30～17:30

- 1 法人の理念・制度の理解
 - ・法人のなりたち
 - ・多摩同僚会の理念
 - ・法人施設概要と職員
 - ・介護保険制度について

2 社会福祉の変遷と職員の役割

3 人材育成のしくみ

3月26日（金） 8:30～17:30

- 1 援助の基本的な考え方
- 2 府中市の高齢者福祉
- 3 神田の高齢者福祉
- 4 府中市の子育て支援

所属別に
分かります

5 コンピュータシステムの理解

6 法人で働くために必要な規程

7 福祉職員としての倫理・マナー

4月には基本的な防災知識と技術の習得のために防災教育センターでの研修もあります。

施設 だより



盛ざかり

泉苑

元気モリモリ モリモリ盛り

「ふ~~~~」。と腹式呼吸をしながら、只今測定中。

週1回の体操と趣味活動、外出、ゲーム等を行っているほっとサロン。「家に居ても体操はしない。でも、ここに来たら体操もするし、よく笑うし、お話が出来るよね！」と体操に励んでいます。体操だけでなく近隣に住むご利用者同士の交流の場でもあります。

今日の活動内容は、今の自分の体力がどのくらいあるのか確認をするための体力測定。「去年の結果は・・・」。「去年は去年、今年は今だから数値なんて気にしない。」「結果よりもほっとサロンに自分の足で通えること、人と話することが大切。」と話されております。

体力測定では身長と体重も計測します。「身長は縮んだけど、体重は増えたわ。この前おいしいものたくさん食べたからね。それとも体操して筋肉がついて重くなったのかしら？体重計の故障??？」と笑顔で話す姿に、皆さんからも笑いがこぼれました。

体操をして筋肉をモリモリつけると、食欲もモリモリモリになり、会話が弾み話題も盛り盛り盛り盛り盛りになって、笑顔もたえないほっとサロンです。（介護員 矢野 貴子）



きずな

背伸び盛り？ まだまだ甘え盛り！

今年の4月から小学1年生になったAちゃん。私達は、出会って3年になります。一緒に笑ったり、時にはケンカをした日々は、あつという間に過ぎました。

保育室での最後の思い出に、年長さんのお別れ遠足が3月にありました。電車に乗って少し速出をしたのですが、みんなは朝から夕方まで元気いっぱいでした。誰かがいけない事をする、ちゃんと周りの子が叱ってくれます。これで、1年生になっての登校も安心だなあと思った矢先：今叱ってくれていた子が、似たような事をして叱られています。1年生になる手前、「小学生になるぞー」という少し背伸びをする姿と、まだまだ甘えていた姿が見られる子ども達は、とても微笑ましく思えました。それと同時に、保育室から巣立っていくという寂しい気持ちもありました。それでも、子ども達の成長はとても嬉しく、家族でもない私が身近で子ども達の成長を見られる事に幸せを感じます。

Aちゃんは保育室のお姉さんで、でもとても甘えん坊さんでした。「先生、抱っこ〜」が聞けなくなると思うと、寂しいのですが、きつと保育室に来て甘えてくれることでしょう。2年前に保育室を卒業したお兄ちゃんのように！

（母子指導員 浦上 さわ）



岩本町

家が、家族が 恋しい盛り

シヨートステイ利用中のセンバさんが訪ねてくれました。

「帰る(退所)日はいつでしようか。」

「〇日の予定です。」とお答えすると、

「あら、早くなるように頼んだのに。」とげげんな様子です。

「すぐ確認いたします。」との一言に笑顔になりました。

と、後ろにスギさんが待っています。

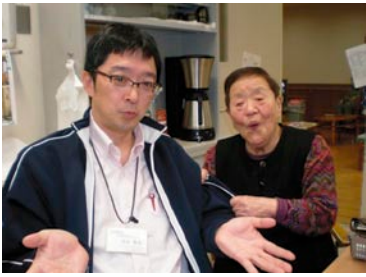
「今日帰れるの?」と真剣な眼差しです。

「早速、調整いたします。」との説明に大きく頷かれました。

と、その後ろに立っているのはイトウさんです。

「私も帰りたいのです。」との申し出です。

と、あらら、その後ろにセンバさんがまた並んでいます。



「私も帰りたいのです。」家が、家族が恋しい…気持ちは皆同じですね。

(相談員

高谷 敦生)

しらとり

みんなぐんぐん 伸びています

年度が替わり、子どもたちはひとつ学年があがりました。どの子どももみな1年前と比べて顔つきはお兄さんお姉さんになり、できることがたくさん増え、体も一回り大きくなったのが良く分かります。しらとりには遊びやおしゃべりなどいろんなことが育ちざかりの子どもたちでいっぱいです。

トワイライトを利用している3人姉弟の末っ子2歳のAちゃんは、今年度でしらとり2年生になりました。初めて来た頃は話しかけたことにウンウンと頷いていて、お喋りは少しでしたが、今では私に本を読んでくれるほどに成長しました!(実はずっと本を逆さまにして読んでいたのは内緒です)。



そんな私も職員2年生になりました。初めての進級です。子どもたちの成長のように職員として育ちざかりでありたいものです。

(少年指導員

山本菜穂子)

緑苑

麻雀盛り

緑苑の麻雀はちょっとした余暇活動から始まり、今では地域の方も交えての定期的な活動になっています。私は、信愛寮のご利用者に教わりはじめ、その楽しさと難しさを知ったばかりの初心者です。

世間一般では自動麻雀卓が主流のようですが、ここでは手積みです。

指先を使い、牌を握り、持ち上げ、乗せる作業。これだけでも慣れるまで大変です。

手指に神経を集中させ、脳を駆使する、まさに介護予防。

今後も地域の皆さんも交えての交流を続けていきたいです。

「あなたと打ちたいわ」と言ってくださる人がいます。

「あなたはすぐに振り込んでくれるから」ですって……。



(相談員 時田一郎)

連雀

いくつになっても

「眉毛ある？」

朝、起きて着替えのお手伝いをしていると、必ず聞かれることがあります。入れ歯を入れて、着替えて、眉毛を描いて。「茶色のズボンはいやだから黒のズボンがいい」と言われ、寝る時にはお気に入りのリボンが付いたかわいいたかパジャマ。「かわいいです」「かわいいです」「ね」と言えば、「そうね」と素敵な笑顔か返って来ます。



洋服は花柄が多く、好きな色は赤。朝は、眉毛を一緒に描いて髪の毛をとかしたら終わりです。

「ちゃんと眉毛ある？」

「ちゃんとありますよ」

最近、化粧をあまりしなくなった私からしてみれば「見習わなければならぬなあ」と思います。女ですもの、いくつになっても「かわいい」とか「ステキ」とか言われたいものです。

(介護員 油布 紗佳)

たち

心も体も のびざかり

わたちの保健室では、水・木・金曜日にお子さんの身体測定をしています。

測定日には朝から様々なお子さんが身体測定に訪れ、そのたびにそれぞれに成長していく姿を見せてくれます。

お母さんの腕に抱っこされた小さな赤ちゃんが、よちよち歩きになったり、体重計のスイッチを点けたり消したりいたずらざかりになったり。

いざ測定になると「イヤイヤ！」大泣きでぐずっていたお子さんが、身長計に立って「気をつけ、びっ！」の掛け声に緊張しながらも背筋を伸ばせるようになり、頑張る姿に体とともに心の成長にも感動して、私たちの方がお母さん以上に笑顔になっていることもあります。

また、ときには「身体測定をお願いします・・・」とやや心配そうな面持ちのお母さんが、「離乳食を食べてくれなくて・・・」「太りすぎでしょうか・・・」など、ちょっとした心配事をうちあげてくださることもあります。

「ゆっくりの様子を見ていきましよう。また寄ってくださいね」と見送るときのお母さんの「ほっ」とした表情に、思わず心の中で「お母さん頑張ってるね！」とエールを送っています。

(看護師 八木 元子)



あさひ苑

美ざかり

「人生は60から。おしゃれは指先から。」

あさひ苑デイサービスでは、週代わりで少人数の活動をおこなっています。そのひとつが「爪のお手入れキラキラ倶楽部」

女性ばかりでなく男性の参加もあり、最高齢は99歳。1日5名程の方が活動を

楽しまれています。ハンドマッサージのあと、爪にマニキュアを塗るのですが、皆さん美に楽しそう。

マニキュアの色も、赤やピンクはもちろん、金色やオレンジ、ラメ入りのものなどざっと50色。お好みで爪シールも貼ります。

皆さん思い思いの色を選んで、「あら、そっちもいいわね。今度はそれにしようかしら。」「それは地味だわよ。もっと色目があったほうがいいわよ。」「いや、私はこれ。」などにぎやかなことにぎやかなこと。おしゃれは人を元気にしますね。若い人ばかりの特権ではありません。人生を刻んだ指先を飾る彩りは、とてもかわいらしいものだと思えます。皆さんいつまでもお元気で、そしておきれいでいてください。



(介護員 木村友喜子)



ボランティア紹介

肌と肌の
コミュニケーション
アロマボランティア

あさひ苑ではベッドで長い時間過ごされているご利用者に対してのレクリエーション活動として、アロマボランティアさんに来て頂き、アロマトリートメントを月に1回行っております。

ボランティアさんは、アロマアドバイザーという資格をお持ちで、お一人お一人に時間をかけながらゆったりとしたひとときを提供して下さいます。

その時間は何とも言えない香りがお部屋の中を包み、私達職員までも癒される時間でもあります。行った後のご利用者の肌もつやつやになり、心地良い空間です。

(あさひ苑 岸 千陽)



御寄贈ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

あいおい損害保険株式会社 有住敏夫 (株)エプロコット NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン
江田廣子 大塚元子 カープスフードドライブ 株式会社キッズシティージャパン 株式会社劇団飛行船 東京支社 担当・小林 株式会社ニトリ札幌本社 株式会社ホンダトレーディング カルピス株式会社「カルピス」ひなまつりプレゼント事務局 川上多賀子 清水裕子 東神田町会 細谷進
(2010年1月〜2010年3月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 青木成江 青山幸子 赤林好子 秋山 恵美子 浅野貞子 朝日保育所 網代恵美 網代 弘子 荒木奈津代 有本陽子 飯塚喜美子 井口 イマ 池島敦子 囲碁を楽しむ会 石井忠男 石 井宏 石井美保子 石井雅子 石坂勝世 石澤圭 子 石原みつる 市川アイ子 市川知子 一色美 恵子 伊藤うめ子 伊東富美子 井上美喜子 井 上圭典 井上宏子 井上陽子 井踏世津子 岩佐 和栄 岩崎敏信 上田悦子 上野玲子 鶴澤シズ 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 江口重洋子 海 老原志づ子 遠藤陽子 遠藤伊代 大竹義みつよ 大川久美子 大倉弘子 大島庸子 大竹義昭 大 塚紗恵 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 岡 野玲子 岡裕子 小川健治 荻野和子 荻村光恵 小熊美和子 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉道子 小倉富子 オオサの会 尾崎ヨシ子 小澤末子 折田浩一 御野礼子 海江田紀久子 柿本シヅ 江 柿本純子 角田和歌子 笠間豊子 梶田慶子 鹿島千重子 柏山和子 片桐キミ子 カットサ ロンアベ 加藤博子 加藤紀久代 加藤静 金澤 富久子 金子武仁 上沢美和子 上村峰隆 ガミ ヤオラハン 川上満寿美 川崎綾子 川迫美奈子 川島順子 北村三枝 木村幸子 草野美鈴 久 保田摩耶子 倉林穂 栗原宏子 桑原侑子 弦間 まさ 小石暁子 小出由美子 小出農一 小岩井 雅人 河野トシヨ 甲野真弓 小島文栄 小島ユ ミ子 小島百合子 小菅よし江 後藤寿枝 後藤 祐輝 小林久子 小林真弓 今野幸子 紺野和子 ヶ・ボディンション 齊藤敬子 斎藤孝子 斎 藤則子 酒井絃子 酒井和子 坂本越子 佐久間 桂子 桜山健 佐藤英子 佐藤公子 佐藤妙子 佐藤なか子 佐藤初江 佐藤ミドリ 佐藤洋子 佐野田鶴子 塩澤佳津子 塩田政 重田文子 品 田啓子 島田たす 島津朱実 嶋野真理子 清水 文枝 下江美鈴 下中恵美子 十べえお話の会 白神早斗子 進藤サエ子 進藤暉子 杉本節子
杉山恵子 鈴木嘉子 鈴木好枝 スターバックス コーヒー 砂原喜美子 瀬戸貞子 浅間の森ハン ドベルの集い 藪田澄子 高澤久美子 高島米子 高鍋恵子 鷹野榮子 高野晴美 高橋弥生子 田口裕香 竹内由美子 竹松ふく 辰本ケイ 田 中久美子 田中幸子 田中智加子 田中翠 田野 倉晴美 田部美智子 丹野由紀子 千葉芳子 土 屋和子 土屋とき枝 手塚正輝 戸井田清子 東 郷實枝子 栃谷さき 富田秀子 富田和代 豊永 昌子 永井友子 永井イエ子 中下秀子 中嶋永 子 長島広美 中田愛子 永田良子 中村紀久江 中村フサ子 中村清美 中村夏実 中村美佐江 中村恭俊 中山康 中山ようこ 中山照子 那 須史子 新村孝子 西久保長子 西宮智恵子 西 村珠美 西山京子 二宮澄子 根岸路子 野坂昭 弘 萩原昭子 萩原八枝 橋場昭 橋本巖 長谷 川宣子 羽鳥みのる 羽山直子 原恭子 原田勝 彦 原田康子 樋口淳子 樋口雅子 樋口よし子 肥後住江 尾藤智子 平泉順子 平賀登美子 平澤みどり 平田敦子 広木さく江 廣田早苗 プチトマト 府中四中日本文化部 船岡栄子 舟 見三佐子 ふれあいクラブ浅間 星川美津子 星 野ユキエ 堀田武三郎 ボディンション ユップ 本田 純子 前田宗治 牧内ヤス子 政所優季 増田栄 松浦良枝 松尾和枝 松川友樹 松澤通子 松 下葉子 松下朗 松下朋子 松田恵子 松野アイ 三坂和子 水谷静江 三輪孝子 宮崎清子 宮 下美智子 明神淑恵 村井福子 村野豊子 村守 徹夫 望月友子 森健一 森玲子 森田珠恵 森 満隆文 森脇敦子 八重の会 谷貝祥子 八木か つ子 山下優子 山田ケイ子 山田一丸 山本尚 子 山本峯子 横田公子 横山純子 吉田千鶴子 吉田陸子 吉村博子 米山秀子 我妻文子 脇 山令子 渡辺勝征 渡辺キク 渡辺勇 渡辺秀雄 渡邊弘子 渡辺守 和田都
(2010年1月〜2010年3月)

編集後記

引き出しの底から69号の表紙原案が沢山出てきました。1年経ったんだなあ・・・としみじみしました。
(泉苑 佐藤真紀)

春は出会いの季節。今年ほどんな出会いがあるか楽しみにしています。
(泉苑 黒部雅之)

産休の渡邊さんからバトンタッチしました。これから頑張りますのでよろしくお願致します。
(かんだ連雀 三宅めぐみ)

法人での出来事を、少しでも多くの人に知ってもらえれば光栄です。
(あさひ苑 浅見達也)

この1年間で文章を書く難しさを痛感。文章の書き方を勉強しなければなあ...と思えました。
(あさひ苑 長峰茂子)

表紙の写真から元気をもらっていたと嬉しです。私もおすそわけしてもらいます。
(緑苑 大沢清佳)

4月には、もう来春卒業予定の採用試験がありました。今年も厳しい雇用環境が続くようです。
(事務局 青木志乃)

自分の好きな職場で働けること、頼りにされることに感謝して仕事をしたいと思っています。
(編集長 上野廣美)

**介護に関するご相談は
無料ダイヤルで!**

●泉苑在宅介護支援センター
☎0120-6540-24
老後支援24時間

●あさひ苑在宅介護支援センター
☎0120-2942-24
福祉にっこり24時間



多摩同胞会の
ホームページを
携帯でもどうぞ!